

## 1. 「豊予海峡みらいづくりシンポジウム」を開催します

豊予海峡を結ぶ鉄道や道路の整備は、九州・四国において観光需要の拡大や新たな産業振興の効果をもたらすとともに、我が国全体のさらなる成長や災害時における代替ルートという面でも重要な効果が期待されます。そこで、豊予海峡ルートの実現に向けた機運の醸成を図るとともに、愛媛と大分の交流を促進することを目的にシンポジウムを開催します。

### 1. 豊予海峡ルートに関するこれまでの取組

これまでの調査結果において、豊予海峡ルートをトンネルで整備した場合、新幹線及び道路において費用便益が1を超え、効果が整備費用を上回ることが判明しました。

また、今年度より広く関係団体等の意見を聴くため、「大分市豊予海峡ルート推進に関する勉強会」を組織し、大分県をはじめ、愛媛県や愛媛県側の関係市町に参画いただく形で、情報共有や今後の方策に関する意見交換を行いました。

今後は、この度開催するシンポジウムをはじめ、勉強会等を通して関係団体や住民の皆様に対する情報の発信や共有を進め、豊予海峡ルートの実現に向けて取り組みます。

## 2. 「豊予海峡みらいづくりシンポジウム」

日 時	2月12日(水) 午後1時30分～3時50分 (開場は午後1時)
場 所	コンパルホール3階 多目的ホール
内 容	<b>&lt;基調講演&gt;</b> 午後1時40分～2時40分 ・講師①：(一社)日本プロジェクト産業協議会(JAPIC)副会長 中村 英夫氏 演題「調整中」 ・講師②：名古屋都市センター長、国土審議会会長 奥野 信宏氏 演題「将来の広域連携をつくる豊予海峡ルート」 ・講師③：国土交通省国土政策局計画官 岸 弘之氏 演題「スーパー・メガリージョン構想について ～リニア時代の国土づくり～」

## ＜パネルディスカッション＞ 午後2時50分～3時50分

・テーマ:「豊予海峡ルート整備に向けた愛媛と大分の今後の交流について」

・パネリスト:

藤本 貴也氏 (JAPIC 国土・未来プロジェクト研究会委員長)

橋本 均氏 (大分商工会議所・大分経済同友会)

山本 泰士氏 (愛媛県企画振興部地域振興局長)

高門 清彦氏 (伊方町長)

遠藤 健人氏 (大分県企画振興部交通政策課長)

佐藤 樹一郎 大分市長

・コーディネーター: 吉村 充功氏 (日本文理大学工学部建築学科教授)

・コメンテーター: 木村 俊介氏 (明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授)

参加費  
定員  
申込方法

無料

300人 (先着順)

電子申請またはファクス・電話により企画課へ。

電話 097-537-5603

ファクス 097-534-6182

## 《参考》 講師プロフィール

### ○中村 英夫 氏



1935年京都府生まれ。帝都高速度交通営団(現・東京地下鉄)入社。東京大学生産技術研究所助手、シュトゥットガルト大学客員講師・教授、東京工業大学工学部助教授、東京大学工学部教授を経て、1996年運輸政策研究所長。97年武蔵工業大学情報学部教授、2004年武蔵工業大学学長。校名変更後の東京都市大学総長。土木学会会長、世界交通学会会長を歴任。

### ○奥野 信宏 氏



1945年生まれ。名古屋都市センター長。公共経済学専攻、経済学博士。京大院修士課程終了後、名古屋大学副総長、中京大学総合政策学部長等を経て現職。国土審議会会長・計画推進部会長・北海道分科会長、内閣官房ナショナルレジリエンス懇談会委員等。著書「公共の役割は何か」(岩波書店)、「地域は「自立」できるか」(同)、「リニア新世紀名古屋の挑戦」(共著、ディスカバリー21)他。

### ○岸 弘之 氏



東京工業大学大学院修了。1989年運輸省入省。九州地方整備局道路部、国土交通省国土計画局総合計画課、北陸地方整備局新潟港湾・空港整備事務所長、徳島県県土整備部運輸局長、(一財)沿岸技術研究センター研究主幹を歴任。2018年より現職。

【企画課 内線4842】